



喜界高だより

校訓
自主自立
開拓創造
公德奉仕

鹿児島県立喜界高等学校

電話 (0997) 65-0024

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2536 FAX (0997) 65-0217

ホームページアドレス <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kikai>

No.119



素晴らしい人生を

校長 福元 幸一郎

「光陰矢のごとし」と言われますように、月日の経つのは早いもので、もう令和三年度の卒業式を迎えることになりました。保護者の皆様にご子弟のご卒業を衷心からお祝い申し上げます。十八年前の感動の誕生の日から今日までさまざまな思い出が走馬灯のように駆け巡っております。子育ては平穏なことばかりではありません。病気やケガで心配をかけたり、わがままを言って困らせたことなど、万感の思いが込み上げておいでではないかとお察しいたします。しかし、保護者の皆様のご苦勞も報われ、晴れて卒業の日を迎えることができました。学校としてもこの三年間を振り返り、卒業生のために教職員が一丸となって学習指導、進路指導、生活指導、そして部活動の指導に頑張ってきたつもりではありますが、「子どもたち一人ひとりの力を十分に伸ばせたのだろうか」と反省するところだと思います。ご子弟のたくましく成長した晴れ姿を、共に喜びたいと思います。

入学した年は、社会と学校の歴史の中でも大きな節目の年でもありました。その年の四月三十日で皆さんが誕生した「平成」が終わり、新しい元号「令和」が始まった年でもありました。また、喜界高校創立七十周年を迎える年でもあり、学校行事の体育祭や文化祭などすべてが「創立七十周年記念」と銘打って行われ、内容も濃く、生徒の発するエネルギーも例年以上だったと聞いております。また、十一月には「創立七十周年記念式典」が開催されました。その中で生徒代表が「七十年前の先輩方ほど主体性はまだまだ持ち合わせていないが、その時の情熱はまだ喜高生の魂の内にと宿っています。いま、再びその情熱の火を燃やし、喜界島を照らし元気を与える光となれるよう志を新たにしたい」と創立時の先輩方の思いをしっかりと受け止め、これからの喜高生が目指す姿を熱く語ってくれております。この思いを受け継いでくれた皆さんは、新型コロナウイルス感染症拡大により、多く

の学校行事が縮小や中止となったり、部活動で大会参加を見送るなど大きな影響を受けることになりましたが、限られた行事の中で、喜高生としての熱い思いを表現して、その伝統を十分に後輩に引き継いでくれました。

さて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。これから皆さんが進もうとする道は、平穏な道ばかりではありません。現在のコロナ禍、内外の状況が混沌としているだけに、人は絶えず努力を重ね、苦しみを乗り越えて生きていくことが必要になってきます。

「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。不自由を常と思えば不足なし。ところに望みおこらば困窮したる時を思い出すべし。堪忍は無事長久の基、いかりは敵と思え。勝つ事ばかり知りて、負けること知らざれば害その身にいたる。おのれを責めて人をせむるな。及ばざるは過ぎたるよりまさり。」

この言葉は、我が国の歴史上の武将で、自らの人生に降

りかかる苦難に耐え、きわめて慎重な人生を送りながら捲土重来を果たした「徳川家康」の言葉です。意味は「人間の一生というものは重い荷物を背負って遠い道のりをトボトボと歩いて行くようなもので決して楽なものではない。人生とは、常に困難なことやつらい思いに遭遇するもので、楽しいことや自分に都合の良いことばかりが待ち受けているわけではない。そしてその道のりは遠い。それだけに、急がずあせらず毎日コツコツと努力をし、人生を積み上げていくことが、最良の人生である。また、人生は何事も足りない状態の方が、満ち足りているより優れている。夢は叶っていないから夢であり、満ち足りた生活は、夢を求められない」と諭した言葉です。これからの日本の未来を背負っていく皆さんに、心から期待します。

最後に、令和三年度も多くの保護者の皆様方、また同窓会の皆様の御協力を賜り、無事に終わることになりました。この一年間本校の教育活動に対し、多大な御支援・御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。有難うございました。



第72回 卒業生へ送る言葉

卒業生へ贈る言葉

PTA会長 吉行 聡

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学してから卒業までの高校生活は足早に過ぎていったと思います。特に一学年時の一月に日本で最初の新型コロナウイルス感染者が出たこと、そして、いよいよコロナ禍となり、楽しみにしていた行事や大会の殆どが縮小や中止となり...

今年の卒業生の皆さんは全体的に大人しくて物静かな印象があります。しかし私は知っています。皆さんの心の中にある志の強さや、公の場ではつきりと自分の意見が言える、度胸の強さを。これから親元を離れ、島を出ても皆さんが持っている強みを活かしながら、自信を持って新しい生活をスタートさせて欲しいと思います。

さて、現在とはとても早くスピードで世の中が変化しています。皆さんは、それに対応して生きていかなければなりません。世の中が便利になり、問題が希少で解決策が過剰なこの時代の時代は、「問題解決」の能力よりも「問題発見」の能力が評価されます。つまり問題を解くより、発見して提案する人材が求められます。そこで必要力を高める上で何より大切なことは、「人を喜ばせたい」というシンプルな気持ちを忘れないことです。相手の気持ちになって、考えることができる皆さんなら、きっと社会から求められる

人材になれると信じています。これからの人生、壁にぶつかり迷うことも多いと思います。しかし、「人間は努力する限り迷うものだ」というゲーテの言葉があります。何かを成し遂げようと思った時、迷うことなく目標に達することなど、決してありません。何かを成そうと願えば願うほど、人はあれこれ悩むものです。皆さんも迷いながら、悩みながら自分の目標や夢に向かって努力して欲しいと思います。最後に自分の心と体を大切にしてください。元気があれば、何でもできる。」

贈ることは

喜界高等学校本部同窓会長 嶺 義久

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは今日を最後にこの喜界高等学校を旅立たれます。これからの大きな希望に胸を膨らませていると同時に三年間過ごした高校生活の幾多の思いが胸の中を去来していることでしょうか。

さて今年度も新型コロナウイルス禍に悩まされた一年でした。世界においてもコロナ禍で経済を停滞させると社会崩壊を招くことのできるこの手の対策を実施してきました。日本も一年延期され五十六年ぶりに開催された東京オリンピックをなんとか無事に開催。日本選手は二十八個の金メダルを含む五十八個のメダル獲得、日本の底力を世界に示した感じがします。その後対策の効果もあつたか経済活動も多少取り戻しましたが第四波(変異株アルファ)が到来、喜界島でも急速に感染が拡大し体育祭が中止。前年は天候不順で延期の上、規模を縮小しての開催、今年こそは盛大な開催をと期待していただけに残念でした。榕樹祭についても生徒及び学校関係者・保護者だけという観客制限でした。さらに今年に入り第五波(変異株オミクロン)の感染拡大が到来しており卒業式の開催が危惧されることとなります。

一方皆さんは学業以外で新しい経験がありました。公職選挙法の改正により十八歳になると高校生でも選挙権が得られ、十月三十一日の衆議院議員総選挙の投票を経験された生徒もいると思います。高校生活から政治に参加できることは素晴らしいことで、先生方におかれましてはかつて経験したことがない学業面以外での生徒指導に大変苦慮されたことと存じますが心から感謝申し上げます。

これから皆さんは就職や進学でそれぞれの道に向かって進んでいきます。鹿児島、福岡、関西圏、首都圏を中心に生活を始めると思いますが、先ずは親しい友人を作ることです。そしていつも「故郷と自らに誇りを持つこと」です。故郷喜界島は豊かな自然と人情・文化があります。今はSNSですが、都会で一人の生活は孤独に陥りがちな時があります。鹿児島、福岡、関西圏、首都圏には喜界高校の同窓会の支部や郷友会があり、毎年イベントが開催されており参加を歓迎しています。是非顔を出してみてください。きっと懐かしさを覚えます。

最後に卒業生の皆さんの益々のご健勝とご活躍をお祈りします。

「ルーツ」は喜界島に

教頭 大倉 秀心

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業を機に島を出て行く皆さんに心からのエールを送りたいと思います。

私は皆さんに、これから長い人生を生きていく中で、「ルーツ」という言葉を大事にしてほしいと思います。先が生まれ育った土地に対する感情的な結びつき、心の拠り所みたいな感覚といってもいいでしょう。皆さんにとっては喜界島がそれにあたります。この単語のもともとの意味は植物の「根っこ」ですから、皆さんが島外のどこで生活していても、「根っこ」は喜界島にあるという感覚を忘れないでほしいのです。その「根っこ」からしっかりと栄養を吸収し、「日本人」というよりはむしろ「喜界人」としての自我を確立する。そういう人の方がこれからの時代には面白い、魅力的な人材になるような気がするのです。都会より

地方が、集団より個が何をやるのか問われる時代になっています。そういう意味では、喜界高校の生徒には追い風が吹いているようにも思えます。人口の少ない小さな島だからこそ生じる希少性が自分にあるということをお大切に、皆さんがこれからの人生を堂々と歩んでいくことを願っています。

F3 担任 帆北翔太郎

ご卒業おめでとうございます。皆さんと初めて会ってからも三年も経つのかと思うと、感慨もひとしおです。入学式の前に武道館で撮った写真を見返してみると、照れくさそうに笑う顔はまだ幼く、皆さんの成長を改めて感じました。この学年は、どちらかといえばクール？な雰囲気でしたが、三年生になってからは、皆で団結して学校行事を全力で楽しむ姿を見せてくれました。感動とともに、皆さんの学年で本当に良かったと思いました。進む道は違えども、帰る場所は同じです。喜界島での日々を胸に刻み、新天地でも皆さんが活躍してくれることを期待します。

F3 副担任 中村 英作

「全員皆勤を目指そう。」 最初の話を覚えていますか？それも三日目で僕の夢となりましたが、喜界高校でたくさんの経験をしてきましたね。商業科に至っては三年間担任が替わるといってこれ以上ない恵まれた経験をすることが出来ましたね。これらの経験は島を離れ、自立していく中で必ず活かされることでしょう。自信を持ってそれぞれの道を歩んでいって下さい。

最後に、成人式では成長した皆さんと酒を酌み交わすのを楽しみに、今後の活躍を祈念しています。

F3 副担任 佐東 聖也

卒業おめでとう。三年間の成長をそばで見させてもらったこと、とても感謝しています。

特に今年一年間はこの学年に初めて所属して、そばであなたたちを見て、感心させられることが非常に多くありました。制限が多い中でいかに自分たちが楽しみ、価値を生み出していくのか。先頭に立って、学校を引っ張って

いこうとする背中に、感動しました。授業での、ひたむきに謙虚に学ぼうとする眼差しには、こちらのほうが身の引き締まる思いでした。面接練習などで、深く自己分析し、将来と真剣に向き合う表情はとても凛々しかったです。

S3 担任 有村 玄太

昨年度は数学の教科担当者でしかなかった私が三年担任となり、学校生活も担任も替わって、進路を決める大事な学年のスタート時点とまどいを覚えた生徒もいたことでしょうか。いい意味でもそうでない意味でも控えめな皆さん、卒業おめでとう。皆さん一人一人が予断不能な時代を背負って一人一人が素直な人の良さを島外でも存分に発揮して、楽しい新生活を送ってください。

楽しい高校生活が終わってしまふことを嘆けばかりでなく、これから続く長い生活で楽しみを見つけ、いつか立派になった皆さんと再会できること楽しみにしています。

S3 副担任 黒葛川 健人

「高校生はこんなにも成長するのか」入学当初から今までの皆さんの高校生活を振り返って出てきた率直な感想です。

皆さんは三年間、コロナによる様々な行事が中止や縮小される中、勉強や部活動をはじめとされる様々な活動を通して、大きく成長しました。人生で最も輝ける時期にコロナの影響を受けたことで楽しいことばかりではなく、思うようにならない悔しい思いでも逃げずに頑張ってきたから今の皆さんの成長があります。これからの人生、多くのことに挑戦し、成功を掴み取るように、そして、一生懸命頑張ってください。

友人を大切に、これからの出会いを大切に、ふるさと喜界島を大切に！卒業おめでとう！

S3副担任 友原 結里

みんなと出会って一年。この一年をみんなと過ごせたことを嬉しく、大切に思います。楽しそうに授業を聞いてくれたこと、行事のたびに呼びにきてくれたこと、面接練習も一緒に頑張ったね。一生懸命な姿に何度も感動させられました。本当にありがとう。素直で、友達想いで、目の前の人を思いやるあなたたちの素敵なところ、これだけをなくさず大切にこれからも過ごしてください。お互い元気に頑張ろうね。卒業おめでとう。

S3副担任 廣美 奈代

商業科の皆さんと下校時刻ギリギリまで検定対策や就職対策を行ったこと、各行事で普通科の皆さんと「推し」語りなどのおしゃべりをしたこと、支援教室の皆さんと恋愛話をしたこと、三年生の皆さんと過ごした何気ない日常が、私にとって宝物です。皆さん一人ひとりがかわいくてしょうがなく、皆さんのために私ができることは全力でやるぞと思い一年間を過ごしました。少しでも力になれることがあったなら嬉しいですね。皆さんに「先生」と呼んで貰えて、このお仕事の魅力をたくさん知ることができました。ありがとう。これからの進路は、力強くて思いやりの心を忘れずに、力強く進んでください。大好きな皆さんの幸せを願っています。卒業おめでとう。

F2担任 久保田 大將

みなさんと出逢って早三年。あつという間でしたね。感染症により、思うような高校生活ではなかったかもしれませんが、その中でも今出来ることを探しながら実行していくあなたたちの姿に感動させられっぱなしでした。高校を卒業しても、思うようにいかないことはたくさんあります。その中でも試行錯誤しながら努力する姿が、皆さんの仲間や応援を生み出すため、お互い、これからも頑張ろうね。卒業おめでとう。



卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。新型コロナウイルスの流行により、今までの常識が通用しない世の中での高校生活。修学旅行も中止になり、学校行事も制限され、教員として、このような高校生活を送らせているのか、と歯がゆく、自問自答する毎日でしたが、私が見た二年間で、皆さんは大きく成長できたのではないのでしょうか。

F2副担任 上段 亜希子

地歴公民科教員として、特に歴史を専門とする者として、皆さんに伝えたい言葉は、現在の一択です。「過去に目を閉ざす者は、現在も盲目となる。」ドイツ大統領ヴァイツゼッカー氏の言葉です。自分の過去が、未来を作ります。自分の歩む道が未来を作ります。自分を信じて、自分だけの道を拓いてください。自分と自分だけの道を拓いてください。満足な愚か者になるより、不満足なソクラテスになってください。

F2副担任 石堂 星矢

自分の世界を大きく広げる機会を得た皆さんへ。皆さんの先に広がる世界が、きつと前向きなものでありますように願っております。卒業おめでとうございます。

S2担任 宮原 梓

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。入学してからの三年間、日々成長を続ける皆さんの姿にいつも元気をもらってました。会えなくなるのは寂しいですが、それぞれの未来に向かって力強く歩みを進めてください。私の好きな詩に「今日の生き方が人生となる」という一節があります。今の自分が未来の自分を形作っていると思います。またどこかで会える日を楽しみに、皆さんの人生が幸多いことを願っています。

S2副担任 小林 友紀

卒業おめでとう。自分が選択した道を、後悔のないように突き進んでください。これから人生楽しいことばかりではないからもしっかりと。社会の激しい変化に対応するため、常に学ぶ姿勢と挑戦をしつづける勇氣を持とう。前進あるのみ。応援しています。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは、三年間共に喜界高校で学ばせてもらいました。朗らかで優しい皆さんと充実した学校生活を過ごさせてもらいました。これからのことに期待と不安が、いり混ざっていることでしょうか。大丈夫です。人生に失敗はつきものです。頑張っていたら、必ず道は開けます。困っていたら、誰かが助けしてくれます。これからの自分自身に大いに期待してください。

S2副担任 松元 修

皆さんの人生にたくさん笑顔があふれることを願っています。気張れよ！

S2副担任 大久保 舞香

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私にとって、三年生と共らに過ごした時間は、とても楽しく、忘れない思い出です。行事の際、一人一人がキラキラ輝いて、活躍している姿が、とても印象的でした。これからも、喜界高校で身につけたことを胸に、自信を持って、夢や目標に向かって頑張ってください。

F1担任 柿永 直毅

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。これから皆さんは、予測不可能な時代を生きて、その第一線で活躍していくことではないでしょうか。様々な事があるから生まれる時代に心を躍らせながら、これまで培った力を十分に発揮していくことが必ずあるはずなんです。どんなことにも躊躇せず、確かな一歩を踏み出してほしいですね。またどこかで会える日を楽しみにしています。

F1副担任 大山 聖子

喜界島に住むのは、はじめてでした。卒業おめでとう。昨年度は、F3のクラスの副担任やS3の科学と人間生活の教科担任で修した。今年度は、化学や化学基礎を履修している人たちの教科担任として働き合ひがありました。どの時間にも誠実に取り組む人が多く、たくさんの方の可能性をもっているなあと感じました。

が、みんなの笑顔や、やさしい語りがとても印象的で、感動したことを覚えています。何に對しても前向きで、少ない人数ではありましたが、さまざまな場面でも頑張っていました。喜界島で培った力は、今後の人生にきっと生かせると思います。

F1副担任 福付 大悟

高校生活がそうだったように、これからの人生にも楽しいことしかありません。世界は美しく、未来には希望ばかりです。嘘だと思つたら、ぜひ長生きしてください。五十年後くらいに答え合わせをしましょう。そのころにはたことが笑い話になっています。なっているはずですよ。そうであれ。ね。卒業おめでとう。すばらしい一年をありがとうございました。

F1副担任 西田 京平

卒業生達、茶碗を早く割りなさい。以上。

S1担任 田上 大介

ご卒業おめでとうございます。新しい門出を迎えたい今、一緒に期待と不安の入り交じった気持ちを抱えておられると思います。喜界島を離れるなど、これまでは異なつた環境での生活を始める方がほとんどだと思います。皆さんの高校生活では、新型コロナウイルス感染症対策で、多くの行事等が開催出来なくなると、これまで大変歯がゆく、悔しい思いをされたことと思います。未だ世界の情勢は見えづらく、皆さんが思い描いているような新生活を送ることはなかなか難しいかもしれません。どのような状況に置かれても、自分自身は多くの方々に支えられているという謙虚な姿勢を忘れず、周囲の方々や、家族、友人を大切にしてください。困難を乗り越えていけると思っています。「困難を乗り越えた世代」と後世に語り継がれる皆さんであってほしいと思います。それぞれの人生を、がんばってください。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症のために何かと行事に変更等が有り、不自由な中ではありましたが、皆さんの三年間の頑張りが、今後の大きな財産になると思います。

S1副担任 前田 卓

ほとんど皆さんが、進学・就職のために喜界島を離れることになりました。新天地で活躍されることになり、おめでとうございます。健康に気を付けて、人生というマラソンを自分のペースで駆け抜けましょう！

S1副担任 本 紗織

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。『きかいじま』のあいうえお作文を贈ります。これからの皆さんの活躍を心から願っております。どうか体に気をつけて。君たちの未来に幸せのエンゼルを。寛容な心は大きな羽を伸ばし。自由な思考は新たな心臓となり。ま。学びは永遠の良き友と手取り。

S1副担任 崎田 萌夏

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。三年間があつという間に過ぎたのではないのでしょうか。三年生の進路実現に向けて面接や共通テスト等頑張る姿にいつもパワーをもらっていました。春から島を離れ、就職や進学する人がほとんどだと思います。どんな場所でも楽しいことがある一方、辛いこともあつてほしい。それをひたひたに社会に出るといふことです。色々な人と出会い、たくさん経験をしてください。あなたたちが困ったときその出会いや経験が力になります。これからの皆さんの活躍を心から願っています。

家庭科 西智恵

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。喜界島で過ごしてきた日々はどうでしたか。楽しい思い出も頑張った思い出もたくさんあつたことでしょうか。そして、自立の時がやってきました。自立の第一歩は、「食」です。生きるこ



とは食べることに。まずは、健康的なメニューで身体を元気にしてください。コロナ禍ですので、黙食やリモート食事会で、誰かと触れ合えるといいですね。

今まで支えてもらった方のことを忘れずに新しい出会いも大切にして、新しい場所でも自分らしく過ごしてください。

芸術科 三山 泰代

ご卒業おめでとうございます。振り返ってみると、感染症に幾度も振り回された学校生活でした。対外試合や修学旅行の中止で大切な時間が犠牲となりました。

でもこの先、何が起ころうとも対処できる心構えができたと信じ、前進して下さい。皆さんが描く将来が幸せである事を祈ります。時々、島に帰り元気な姿を見せて下さい。

図書補助員 久麻美

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活の多くの時間をコロナ禍で過ごし、大変な思いをしてきたことと思います。そのような日々の中にも楽しみを見つけた、工夫し、前向きに取り組んできたこの経験は、将来あなたの役に立つことでしょう。喜界高校での三年間を素敵な思い出と振り返られるよう、新しい環境が変わっても、笑顔忘れず頑張ってください。皆さんの活躍を心より願っております。

養護教諭 御領原 恵子

喜界高校及び支援教室の三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

新しい環境へと歩き出す皆さんですが、最初は楽しいことばかりではないかもしれません。心配なことや不安なこともあるでしょう。そういふときは、遠い島から皆さんの無事や健康を祈っている人がいることを忘れないでください。喜界島は大切な人が待っている大切な故郷であることを忘れず、多き人生を選んで健やかに生きて行かれるよう願っています。

事務長 福山 恵一郎

卒業おめでとうございます。充実した新生活になりますように。

よく「努力は人を裏切らない」という言葉を聞きますが、努力してもなかなか上手くいかないのも世の常。年を重ねていくとそこで改めて「自分は何か」「このままでいいのか」ということを考えるわけです。こうした課題は、人生の節目になればなるほど意識されます。喜界島で育ってきたことを誇りに、自分らしい人生を歩んでいってください。

事務 肥後 有斗

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生活としてゴールを迎え、春からの新たなスタートに心を躍らせていることでしょうか。

次々と目まぐるしく日常が変化する中で、眼前にあることを一生懸命に取り組み三年生の姿は事務室からたくさん見ることができました。そのような皆さんにはのびしろしかありません。社会に飛び込み、自分らしさを磨いていってください。

個性豊かな皆さんのさらなる活躍を祈っております。

事務 水流 凜太郎

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

これからの新たな新生活を前に、これまでの思い出やこれからの期待などが入り混じっていることと思います。

これまでの生活の中で多くの人と出会ってきたことと思います。人と出会うという事は一瞬だけの出会いであっても、自分や周りの人へ影響を及ぼすものです。様々な出会いによって、今までの皆さんが形成されています。

これから、皆さんは広がった世界においてより多くの出会いが待ち受けていると思います。これからの人生に良い影響となる良い出会いがあることを、事務室からお祈りいたします。

会計年度任用職員 今井 史代

喜界高校及び支援教室の三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍での高校生活の半分は、今まで出来たない事がいつも通りに出来ず、様々な行事が中止になったりと、心残りの方もいることでしょうか。未だ、コロナは終息していませんが、日進月歩の医療のお陰で予防出来るようになって

りました。これから親元を離れる皆さんは、自分で体調管理をしなければなりません。食事をちゃんと食べる。サブリや野菜ジュースでなく、面倒だからお菓子をとか食べないって事は×。脳の栄養は、お米やパン。しっかりと食べて一日をスタートさせましょう。自分の身体を管理するには、体温計が必須だと思えます。自分の平熱を知り、少し身体がだるい時には、体温を計る習慣を身につけましょう。熱があるのに勤務先・学校へ行くのは×。

十八年間過ごした喜界島から旅立ち、新天地で更にパワーアップした皆さんに会えるのを島で楽しみに待っていますので、チバリョー

事務補助員 増田 小百合

卒業おめでとうございます。

四月からそれぞれの目標や夢に向けて頑張ってください。苦しい事もまた楽しい事もいっぱいあると思います。今まで育ててくれた親に感謝して頑張ってください。

成長した卒業生に会える日を楽しみにしています。健康に気を付けて頑張ってください。

大島養護学校喜界支援教室 鎌田 克規

ご卒業おめでとうございます。

「郷に入れば、郷に従え」という言葉があります。新天地の生活に対応して、異文化を楽しむながら、自分の良さや喜界の魅力をたくさん伝えてください。

新転地での活躍をお祈りします。

大島養護学校喜界支援教室 尾山 恵子

これから新しい世界へ一歩踏み出していく卒業生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

どんな高校生活だったでしょうか。楽しい思い出、残念な出来事、たくさんあったと思います。

四月からはいよいよ次のステップ！もっと広げて大きな世界への出発を期待、不安など色々な想いがあることでしょうか。しかし、自分の足で「一歩」踏み出すことで世界は大きく変わります。

みなさんの未来へ向けた「一歩」を心から応援しています。

大島養護学校喜界支援教室 戸越 修子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは、体育や芸術の授業を共にし、楽しい時間を過ごさせてもらいました。ありがとう。初めての人生をやっている」という言葉を贈りました。これは地球上のすべての生物に言えることです。これからの人生もどうぞ大切に、体に気をつけて頑張ってください。

現生徒会長 横 悠太

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

三年生は高校生活三年間とても大変な思いをしたと思います。しかし、先輩方は常に学校の中心として様々なことにチャレンジして常に手本となる存在でした。

行事では例年通りに行うことが困難でしたが、常に先頭に立って私達在校生を導いてくださいました。

体育祭では、コロナ禍のため、小運動会として行いましたが、一生懸命頑張る姿はとてもよかったです。

榕樹祭では、ビデオでの鑑賞となりました。どのクラスの発表も見られる人をおもしろく、感動させるものになっておりさすがだなと思いました。

クラスマッチなどは、普通科、商業科合同チームとなりましたが、クラスの枠を越えた団結力を感じました。

進路決定においては、大変厳しい状況が新聞で連日のように報道されている中、自らの進路実現に向け頑張っていました。放課後に教室を通ると、灯りがともっており、努力を惜しまない先輩方の熱意に感動しました。その姿勢から目標に向かって努力することの尊厳や厳しさを思い知り、次は私たちの番だと身の引き締まる思いもしています。

先輩方は、希望と夢を抱いて新しい世界に羽ばたこうとしていると思います。先輩方一人一人の旅路は、決して簡単なものではないことでしょうか。しかし、先輩方ならば、喜界高校で培った「自主自立」「開拓創造」「公德奉仕」の精神と、強い絆と挑戦する心で必ず乗り越えていけると私たちは信じています。

どうか、それぞれの場所で、自分の無限大の可能性を信じ歩み続けてください。私たちはいつも応援しています。

前生徒会長 吉永 萌音

私はこの文章を書きながら、卒業が近いということに改めて実感しています。

今年度は特に、新型コロナウイルス感染症の影響で体育祭や榕樹祭が例年通りの形では開催できませんでした。しかし、そんな中でも新たな形で充実した行事になり、生徒の団結力を感じました。この状態がいつまで続くかは分かりませんが、できないことには不満を抱くのではなく、どんな状況でも楽しむことが大切なのだ改めて感じました。

私はこの三年間、多くのことに挑戦しました。生徒会長になったことも自分の中でとても大きな挑戦でした。小学生的のころから引張っていき、なかなか勇気を持つことができなかった。私は高校生になって、やっとその勇気を持つことができ、生徒会長となりました。何事に対しても挑戦をする。それは勇気がいることだと思えます。そして、挑戦した時には失敗して落ち込むこともあるでしょう。しかし、挑戦することは自分の成長や自信に大きく繋がります。私も生徒会長になって自分自身を成長させることができました。是非いろいろなことに失敗を恐れず挑戦して欲しいです。喜界高校は生徒数が少ないため、一人ひとりに多くの機会が少なくなるので、その機会を充分に活かして、自分の糧にしてください。私も十八年間育ってきた喜界島を離れ、新たな地で挑戦していきたいと思っています。

先輩方は、希望と夢を抱いて新しい世界に羽ばたこうとしていると思います。先輩方一人一人の旅路は、決して簡単なものではないことでしょうか。しかし、先輩方ならば、喜界高校で培った「自主自立」「開拓創造」「公德奉仕」の精神と、強い絆と挑戦する心で必ず乗り越えていけると私たちは信じています。

どうか、それぞれの場所で、自分の無限大の可能性を信じ歩み続けてください。私たちはいつも応援しています。

高校三年間は思っている以上にあっという間に過ぎていきます。在校生の皆さんは進路実現に向けてしっかりと準備をして、これからも仲間との時間や喜界島で過ごす時間を大切にしてください。充実した生活を送ってください。在校生の皆さんは高校生活が実りあるものになることを心から期待しています。

